

# 20年度下期に向けて

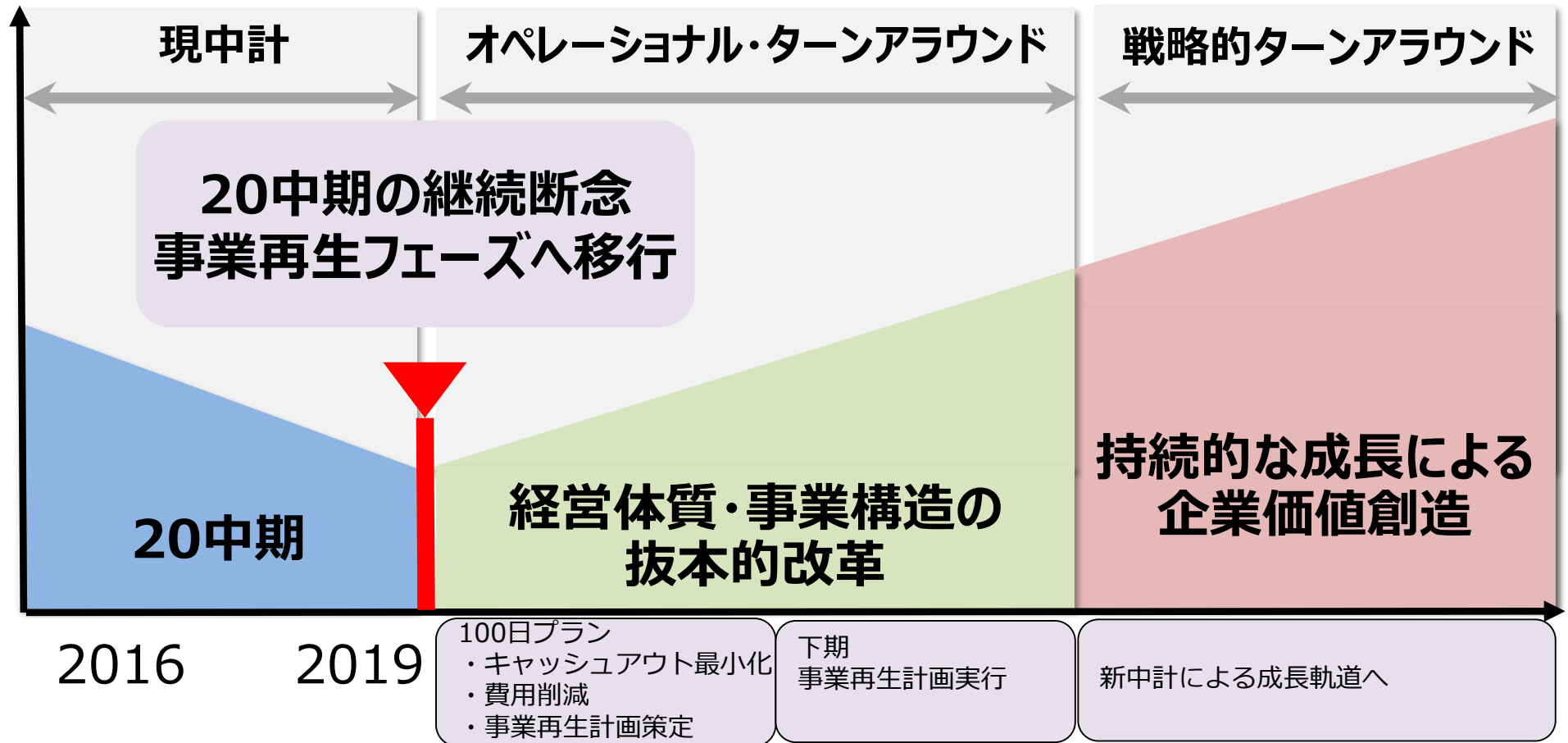
株式会社フジクラ  
取締役社長 伊藤 雅彦

2020年11月2日

# はじめに

- コロナ禍の主要3事業については、インフラ系とそれ以外で大きく状況が分かれている。不安定な状況はあるが、情通ビジネスについては光明が差している状況
- エレクトロニクスについて、例年と異なる販売サイクルとなり、販売見込みを見えにくくさせている。従い当社としては業況を保守的に見ざるを得ない
- 9月14日に公表した施策の実行に向け全力で取り組む
- 今後のフジクラ再生に向けて全社一丸となって再生をやり切る覚悟

# 中計を断念、事業再生フェーズに入る



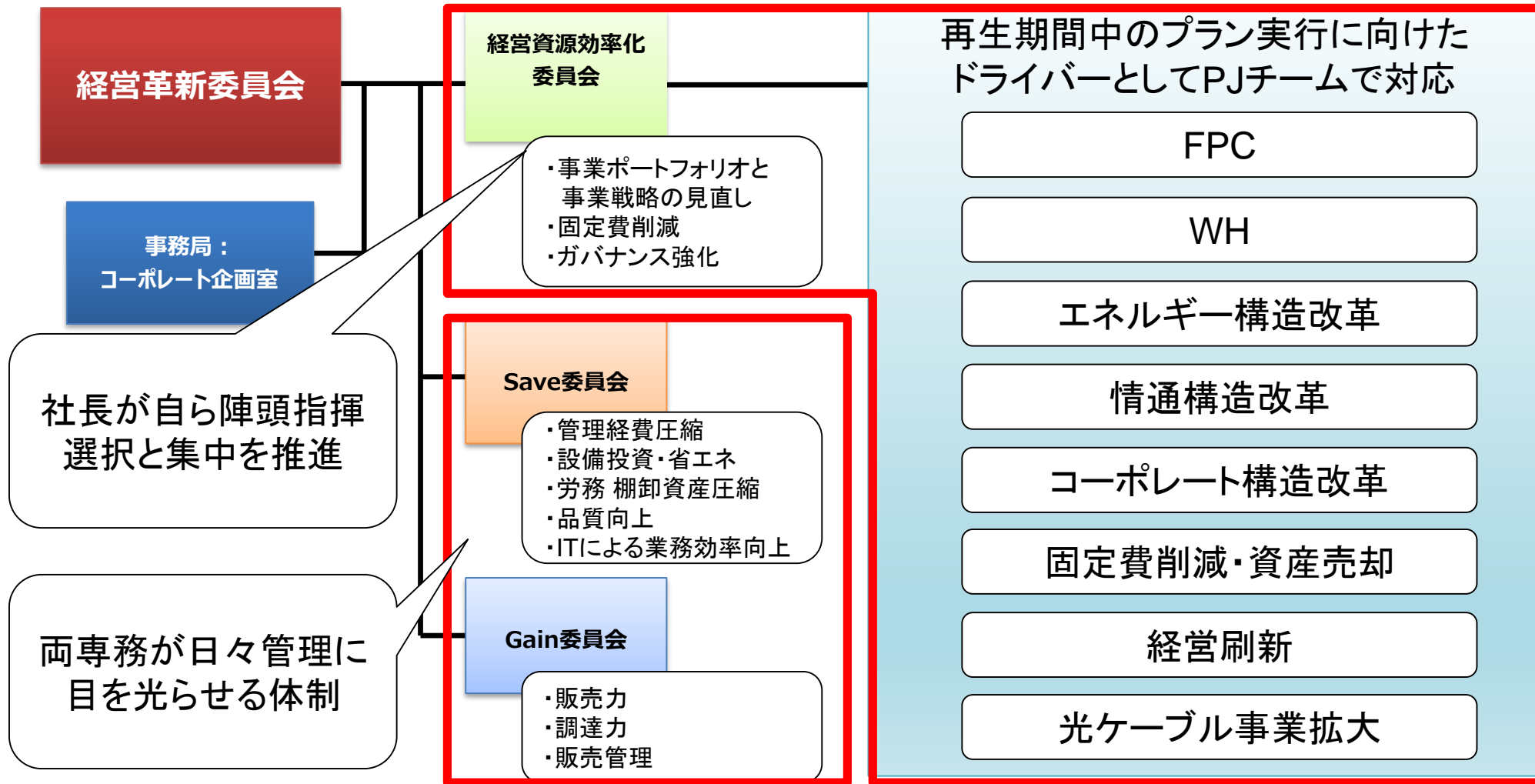
- 事業再生（オペレーショナル・ターンアラウンド）期間を短期ではあるが設け事業の正常化を果たす⇒20年度下期に事業再生計画と方向性を公表
- アフターコロナの成長戦略を盛り込んだ新中期経営計画については事業再生を果たした後に公表・実行（戦略的ターンアラウンド）

# 目次

1. 再生プランの実行
2. 主要事業の取組

# 1.再生プランの実行

# 再生プラン実行体制① 経営革新委員会の実行体制

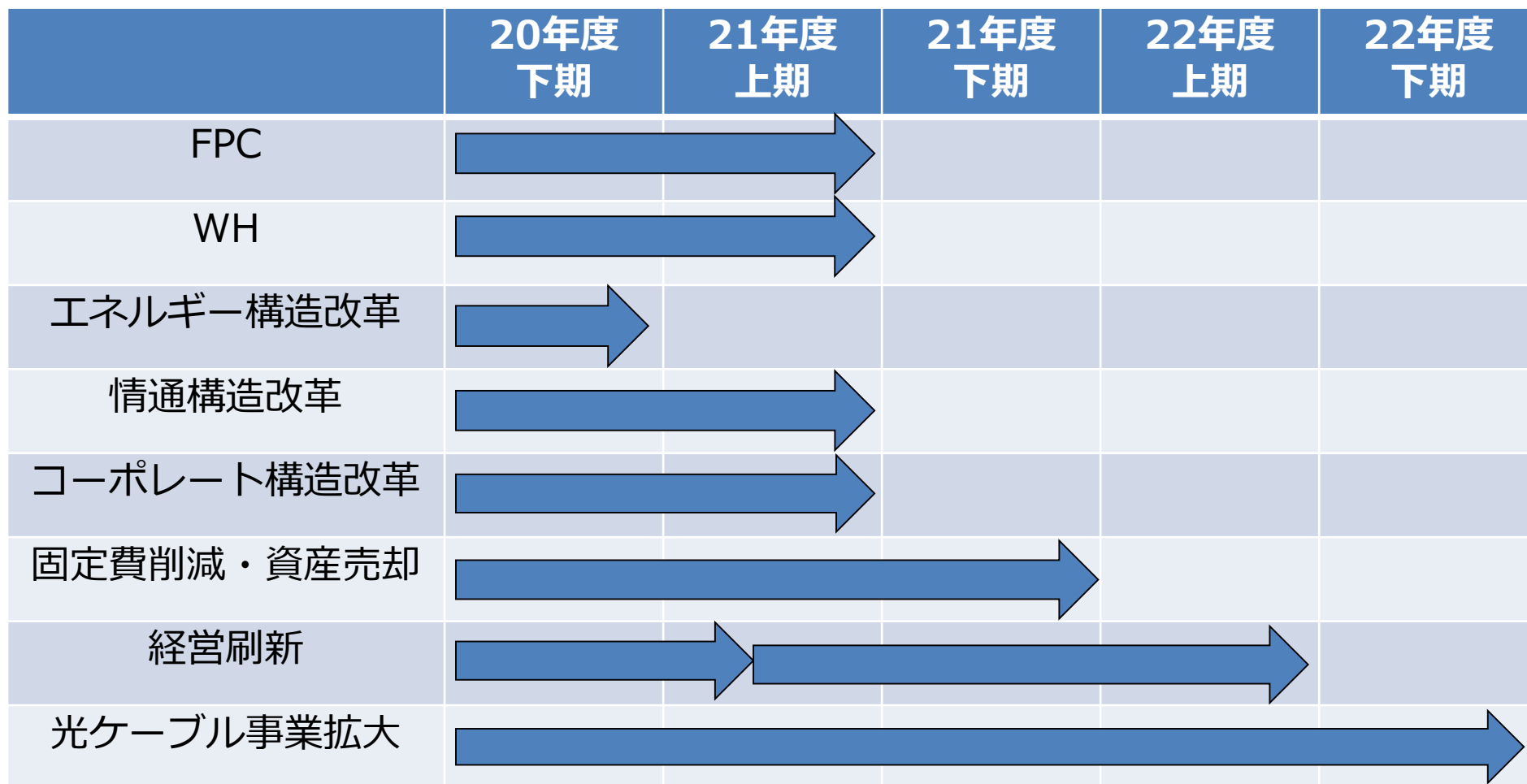


- 社長自らが先頭に立ち、再生期間中のプラン実行を強力に推進
- 日々管理の強化と選択と集中を強力に推進

# 再生プラン実行体制②

## プロジェクトチームがドライブ

- 再生期間中のプラン実行に向けたドライバーとしてPJチームで対応
- PJチームが強力に推進、経営効率化委員会でモニタリング

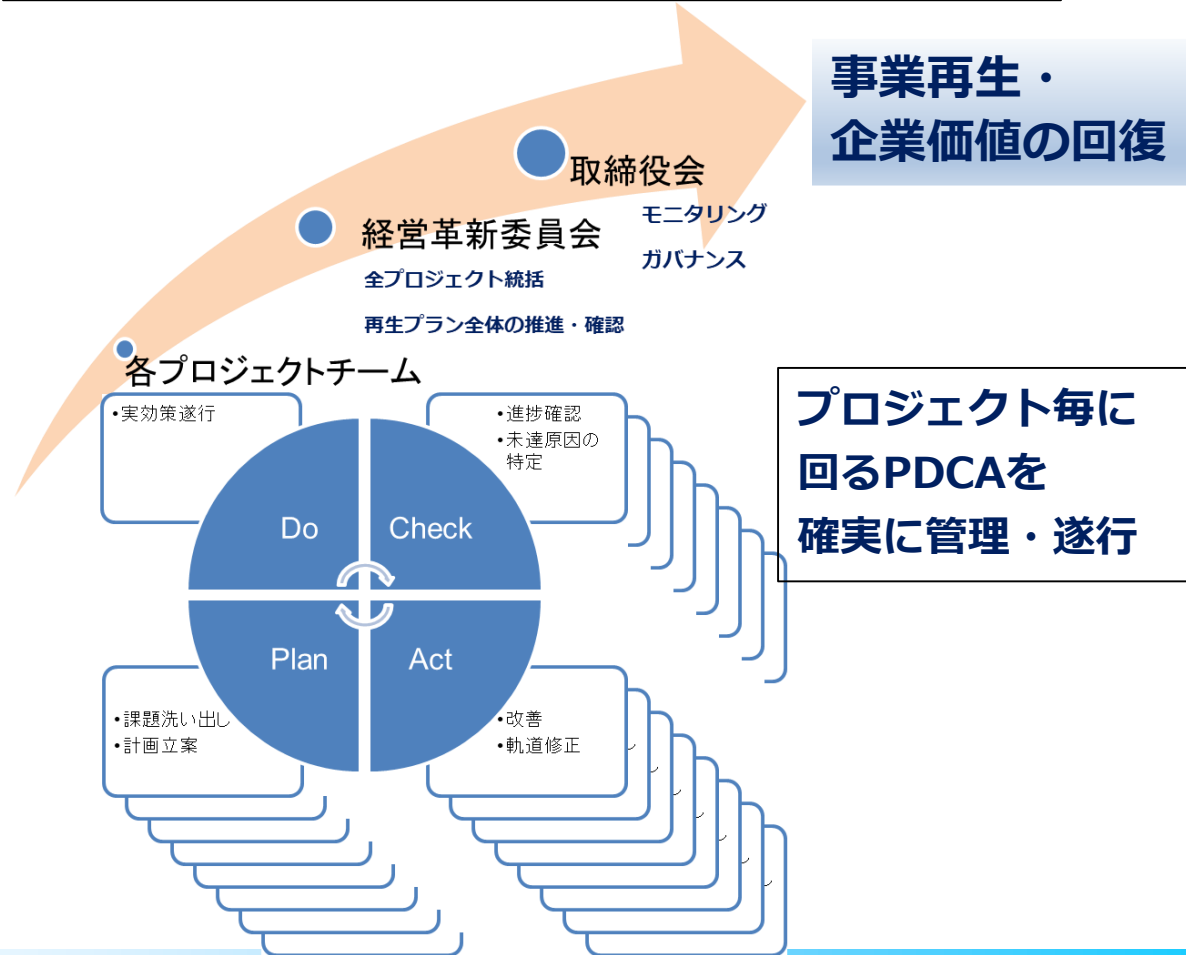


# 再生プラン実行体制③ PDCAサイクルに乗せた管理

- 最大の経営課題⇒実効性ある仕組みづくりにより強かに推進



プラン実行のための仕組み構築  
進捗は適時適切に開示していく





# 事業再生期間中の各事業への投資・CFに対する考え方

## 主要事業の今年度・来年度の設備投資に関する方向性

事業	19年度	20年度	21年度	以降の考え方
情報通信	年央から削減	成長事業に集中		再生後 成長戦略に 基づく 投資実行
エレクトロニクス	緊縮投資の継続			
自動車	東欧から北アフリカ移管		必要最低限	

- ・情通 … 光ケーブルソリューション事業のコアとなるSWR/WTCへの設備投資に集中
- ・エレクトロニクス … 大幅抑制（キャパアップは行わず更新投資が中心）
- ・自動車WH … 東欧⇒北アフリカ移管が中心・以降は大幅抑制

※あくまで現時点での見方、方向性であり、今後の事業環境の変化に応じ方針変更が生じる可能性あり

**再生期間中のCF・利益配分については、設備投資の厳選・財務圧縮等を実行、  
事業の立て直し及び選択と集中に特化  
成長事業への回帰、企業価値回復により、ステークホルダーに報いたい。**

# 事業再生期間におけるインパクト

再生プランに則り、現時点で下記の効果を見込む

単位：億円

項目	20年度	21年度	22年度	23年度以降
早期退職等	7	19	19	19
事業構造改善（拠点整理等）		35	44	62
19年度減損等効果	70	70	70	70
固定費改善効果合計	77	124	133	151
上記等に係る特損計上金額	75	60	40	20

※20年度は業績予想に基づく

**さらに施策を積み上げ、収益性改善に取り組む**

## 2.主要事業の取組み

# 情通事業の欧米展開①

## 概要

1984年米国にて合併展開、2005年完全子会社化  
統括会社を軸に欧米豪への展開を続けている

M&A・オーガニック両方の手段を複合的に用いながら  
徐々にビジネスドメインを拡大

物品提供・通信工事のトータルソリューション展開  
⇒モデルケースは米国で展開中

## 特徴

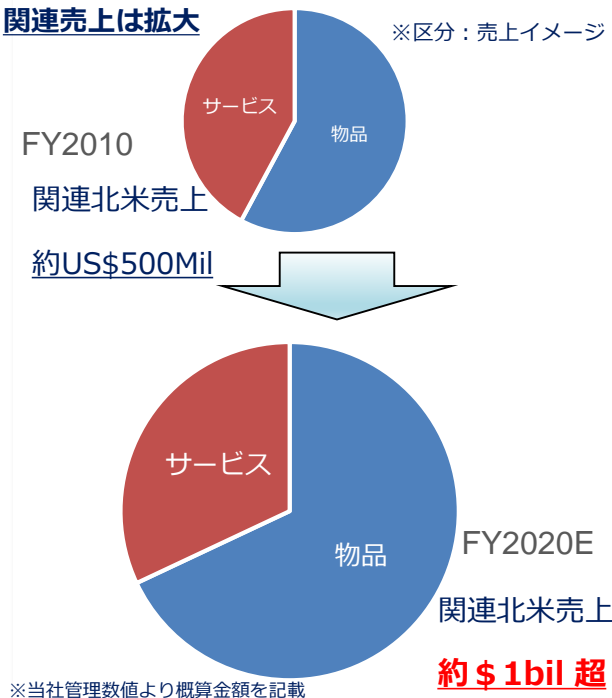
技術開発：日米欧の知見を元に日本で実施  
(※周辺部品・ソリューション含む)

製造：日米欧を中心にSWR・WTCを製造  
(高品質日本製ファイバを実装)

マーケット：中長期的にFTTH・DC需要が拡大する  
欧米地区でソリューションビジネスを展開

## コロナ禍、ケーブルビジネスを軸に北米拠点の

### 関連売上は拡大



北米におけるプレゼンスは近年向上、データセンタ業界のトップティア（≒HSDC）においては、  
超多芯ケーブル分野でのシェアは当社の推測ではあるが30%程度とみられる

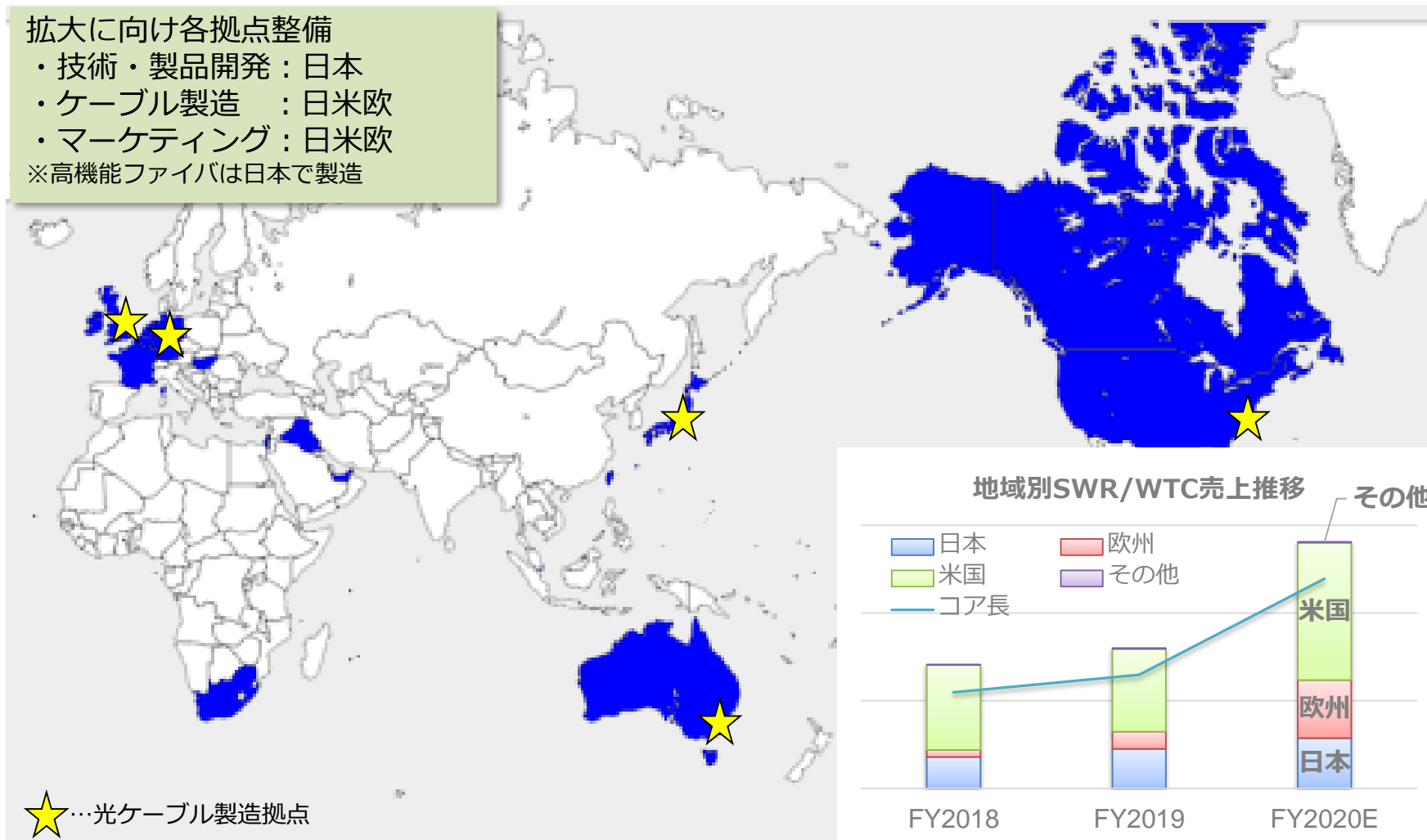
コロナ禍においても将来的な成長を確信、欧米を中心とした光配線ソリューション事業については  
経営資源を集中すべき分野と判断

# 情通事業の欧米展開②

FTTx, CATV, 5G, HSDC向けに欧米展開は着実に進んでいる

拡大に向け各拠点整備

- ・技術・製品開発：日本
  - ・ケーブル製造：日米欧
  - ・マーケティング：日米欧
- ※高機能ファイバは日本で製造



マーケットは急速に拡大、2020年現在16か国で展開

# まとめ

---

- 再生プランの実行はステークホルダー各位へのコミットメント  
⇒PDCAを回し、再生プランを確実にやり遂げたい
- 新たな追加施策については適宜立案・実行
- 各事業取り組み
  - ✓ 情通・・・当社の核心的領域(経営資源を集中・成長への手当てを続ける)
  - ✓ FPC・自動車WH両分野・・・適正規模へのダウンサイジング実行
- 再生期間中の設備投資は厳選、投資総額は大幅減額方針を継続
- 聖域なく改革を推進、全社一丸となって不退転の決意で取り組む



注記：本資料は20年度におけるフジクラの経営方針（意思）をまとめています。20年度を含む先の年度の売上・利益等については、直近状況を織り込んだ市場判断、投入に関するフジクラの意思を定量化していますが、将来時点で事業環境の変化等により変わることがあります。